

安全運転

ほっと NEWS
2011年2月号

今月のクイズ

平成21年の自動車乗車中の事故の致死率をシートベルト着用有無別に比べると、非着用者は着用者に比べてどのくらい高いでしょうか？
(警察庁データ)

- ① 約7倍 ② 約11倍 ③ 約13倍

(答えは裏面)



TOKIO MARINE
NICHIDO

シートベルト・チャイルドシート 着用の必要性

平成12年に6歳未満の幼児のチャイルドシート着用が義務化され、また平成20年に車の後部座席のシートベルトの着用も義務化され、やむを得ない場合を除いてすべての乗員がシートベルトを着用しなければならなくなりましたが、現状はどうなっているのでしょうか？

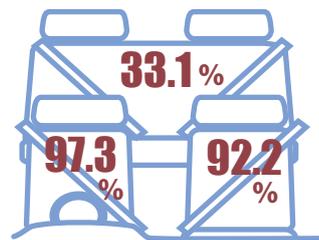
今月は、シートベルト・チャイルドシート着用の実態や非着用時の危険性を通して、着用することの必要性を確認しましょう。

■ 後部座席でもシートベルトを着用しましょう

平成22年10月1日～10日に行われた『シートベルト着用状況全国調査(2010)』によると、シートベルトの着用率は運転席が97.3%、助手席同乗者が92.2%と高いのに比べ、後部座席は義務化前(平成19年調査時8.8%)より伸びているものの、33.1%程度しかありません(警察庁/社)日本自動車連盟(JAF)合同調査)。

また、平成21年中の警察庁データによると、シートベルト非着用による死亡事故のうち、後部座席における死者は全体の67.7%を占めており、危険性が高いにもかかわらず、後部座席の乗員はシートベルトを着用する意識が低いことがわかります。

もし、後部座席でシートベルトを着用していなかったら、事故の衝撃で前部座席や天井などに全身を強打したり、車外に放出されて死傷する可能性があります。さらに、前部座席の人が後部座席からの衝撃とエアバックに挟まれて死傷する可能性があり、被害の拡大につながるためシートベルトは必ず着用しましょう。



『シートベルト着用状況全国調査(2010)』
警察庁/社)日本自動車連盟(JAF)合同調査
平成22年10月1日～10日

■ 体格に合ったチャイルドシートを使用しましょう

平成21年中の警察庁データによると、6歳未満の致死率をチャイルドシート使用有無別に比べると、使用していない幼児は使用している幼児と比べ約4.1倍となっています。

また、平成22年4月20日～30日に行われた『チャイルドシート使用状況全国調査(2010)』によると、チャイルドシートを使用している幼児は全体で56.8%ですが、1歳未満の使用率が80.9%と高いのに比べ、1歳～4歳児は58.9%に下がり、5歳児では32.8%しか使用していませんでした。さらに幼児の体格にあったチャイルドシートを使用しているかやハーネス・ベルトの調節が適正かを調べたところ、適正に使用している割合は58.8%に留まり、車両にチャイルドシートを正しく取り付けている割合は36.5%しかなく、チャイルドシートの使用方法が形骸化しているようです。

(警察庁/社)日本自動車連盟(JAF)合同調査)

もし、チャイルドシートを正しく取り付けていなかったとしたら、衝撃を受けたとき、体重が軽く身体も小さい子どもは、ボールのように飛んでしまうことが考えられます。全身を打ったり、前部座席や車内の障害物をすり抜けて車外に放出されるなど、生命にかかわる危険性があることを認識しましょう。



■ どれだけの衝撃が加わるのでしょうか

急ブレーキをかけたときや衝突したとき、乗員にどれだけの衝撃が加わるのでしょうか？

例えば、時速 40km の車が壁などに衝突したときの衝撃はビルの 3 階（約 6m）から落下したときの衝撃とほぼ同じになります。このとき、身体には体重の 30 倍以上の力がかかり、体重が 60kg の大人だと約 1.8t、体重が 10kg の子どもだと約 300kg の力が一瞬のうちに身体にかかります。

もし、後部座席でシートベルトを着用した大人が 10kg の幼児を膝に乗せ腕で抱えていた場合、衝突の衝撃を受けたときの腕への負荷は約 300kg となり、衝撃の瞬間に幼児を抱え続けることが困難になります。さらに幼児を抱えている大人もシートベルトを着用していない場合、2 人とも前部座席やフロントガラスに衝突し負傷する危険性が非常に高くなります。



■ シートベルト・チャイルドシートを正しく着用しましょう

シートベルトを着用していても姿勢が悪かったり、正しい位置に着用していないと、衝撃を受けたときにベルトで首を締めたり、内臓や骨を損傷するおそれがあります。

シートベルトを着用すると、自由度が制限されてしまいますが、正しく着用すれば長時間乗車していても体への負担が少なく、さらに安全性が保たれます。

●シートベルトの正しい着け方

1. 座席の背もたれは倒さない状態にします。
2. 座席に深く座り、腰を背もたれにしっかりとつけて背筋を正します。
3. 腰ベルトは、腹部の下の位置に左右の骨盤を挟むように着用します。
4. 肩ベルトは、首にかからないように肩から胸骨を押さえるように着用します。
5. バックルは差し込んだ後、しっかり接続されているか確認します。
6. ベルトに締めすぎやたるみ、よじれがないことを確認します。

●チャイルドシートは身体に合ったものを選びましょう

- ・ベビーシート
年齢：新生児～1歳位
身長：70cm以下
体重：13kg以下
- ・チャイルドシート
年齢：1～4歳位
身長：65～100cm
体重：9～18kg
- ・ジュニアシート
年齢：4～10歳位
身長：135cm以下
体重：15～36kg

設置や着用の方法は、それぞれの製品により異なるため、必ず取扱説明書をお読みください。

車種別に安全性を実験し評価した「安全なクルマの選び方BOOK」（独立行政法人自動車事故対策機構「自動車アセスメント2010.3」）では、衝突時の後部座席乗員の保護性や、シートベルト装着時の快適性など後部座席のシートベルトの使用性を評価した項目が平成 21 年より新たに加えられました。車種別に後部座席の安全性や快適性を比較することができるので、車を選ぶときに、参考にするとよいでしょう。

また、チャイルドシートに関しても製品別に安全性を比較評価した「子供を大切に思う親のチャイルドシート選び方BOOK」（独立行政法人自動車事故対策機構「チャイルドシートアセスメント2009-2010」）が発行されています。

全員がシートベルト・チャイルドシートを正しく着用し、事故から生命を守りましょう。

今月のクイズの答え

③ 約13倍

ご用命・ご相談は・・・

「やすらぎ」の設計が私たちの使命です...

保険システム株式会社
INSURANCE SYSTEM CO.,LTD

〒950-0087
新潟市中央区東大通2-4-1 新潟ハナソニックビル6F
TEL 025-243-7374 FAX 025-243-0921
E-MAIL yasuragi@hokensystem.co.jp
URL <http://www.hokensystem.co.jp>



東京海上日動火災保険株式会社

企業営業開発部

〒100-8050 東京都千代田区丸の内 1-2-1

TEL 03-5288-6589 FAX 03-5288-6590

URL <http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>

担当営業課